

令和6年度学校評価

県立南風原高等支援学校

1 目的

学校評価は「校長が学校の教育目標や教育計画等を年度はじめに保護者や学校評議員、地域住民等に説明するとともに、その達成状況に関する学校評価を実施し、その成果を保護者や学校評議員地域住民等に公表することにより、学校運営や教育活動の改善・充実、教職員の資質・能力の向上を図り、より一層地域に開かれた学校づくりに資するため」実施する。

2 実施方法

- (1) 評価者毎に比較分析ができるよう、各項目を統一した様式とし、学校評価を実施した。
- (2) 学校経営方針に基づき評価項目を設定し、アンケート用紙を配布する方法と、Microsoft Forms を用いて QR コードを読み込み web 上で回答する方法を併用した。

3 評価基準

評価の基準を示し各設問項目に自己評価4段階、学校関係者評価4段階評価を行う。
備考欄、その他には評価者が気づいたことや意見等が自由に記載できるようにした。

4：そう思う、3：ほぼそう思う、2：あまりそう思わない、1：思わない

4 実施期間

令和7年1月20日～2月3日

5 評価者

- (1) 自己評価 本校全職員
- (2) 外部評価 ①生徒
②保護者
- (3) 学校関係者評価 学校評議委員

6 評価結果の公表

学校評価の結果は集計、考察等を行い職員会議に提示し情報の共有化を図る。学校評価の成果と課題について保護者や学校評議員等に公表する。

7 結果と考察

- (1) 回収率について（各評価者に無記名の評価を依頼し、下記のような結果が得られた。）
 - ①生徒：回答者 53 名/53 名中（回収率 100%）
 - ②保護者：回答者 35 名/53 名（回収率 66%）
 - ③教職員：回答者 18 名/18 名（回収率 100%）

- (2) 集計結果の総計における各評価が占める割合

生徒、保護者、教職員ともに良好な評価が80%以上を占めていた。全体として、生徒、保護者、教職

員ともに、本校の教育活動に満足していると思われる。引き続き教育活動の充実に努めたい。

	4：そう思う	3：ほぼそう思う	2：あまりそう思わない	1：思わない	回答数	
生徒 回答数、%	550（38%）	744（52%）	105（7%）	32（2%）	1431 （100%）	
	38%		52%			7% 2%
	良好な評価	1,294（90%）	改善が必要な評価	137（10%）		
保護者 回答数、%	422（42%）	515（51%）	73（7%）	5（0%）	1015 （100%）	
	42%		51%			7%
	良好な評価	937（93%）	改善が必要な評価	78（7%）		
職員 回答数、%	279（51%）	235（43%）	29（5%）	1（0%）	544 （100%）	
	51%		43%			5%
	良好な評価	514（94%）	改善が必要な評価	30（6%）		
全体 回答数、%	1251（42%）	1494（50%）	207（7%）	38（1%）	2990 （100%）	
	42%		50%			7% 1%
	良好な評価	2624（92%）	改善が必要な評価	392（8%）		

○各評価者の評価結果

(3) 生徒評価の考察

- ・ 生徒評価の 27 項目中 17 項目において、90%以上の良好な評価が得られた。残りの 6 項目についても、良好な評価が 80%以上となっていた。特に評価の高かった項目 (95%以上) は、「No3 学校は、生徒の進路に対応した教育活動が行われている。」「No8 先生方は、教え方をいろいろ工夫してくれる。」「No13 本校は部活動が活発である。」「No19 先生方は進路についての相談に親切に応じてくれる。」「No20 本校は生徒の適性や希望を活かした進路指導に取り組んでいる。」「No21 学校は、進路に関する情報を知らせてくれる。」「No22 先生方は、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる」「No23 先生方は、生徒の心や身体の健康管理に取り組んでいる。」などで、幅広い項目で良好な評価が得られていることから、本校の教育活動が適切に行われていると思われる。
- ・ 課題としては、「No4 学校は楽しく、南風原高等支援学校に入学して良かったと思っている」「No9 各教科の成績や評価のつけ方について知っている」で改善が必要な評価が 27%と最も高く、自己肯定感や成就感が感じられる教育活動を積極的に実施すること、観点別評価について個々の生徒への説明をしっかりと行うよう改善に努めたい。

① 生徒評価の良好な評価が特に高かった項目(95%以上)

質問No.	項目	項目	そう思う	ほぼそう思う	良好な評価
3	学校運営	学校は、生徒の進路に対応した教育活動が行われている。	47%	51%	98%
8	授 業	先生方は、教え方を工夫してくれる。	49%	47%	96%
13	特別活動	本校は部活動が活発である。	36%	60%	96%
19	進路指導	先生方は、進路についての相談に親切に応じてくれる。	42%	55%	96%
20	進路指導	本校は生徒の適性や希望を活かした進路指導に取り組んでいる。	40%	57%	96%

21	進路指導	学校は、進路に関する情報を知らせてくれる。	45%	51%	96%
22	健康安全	先生方は、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる (性に関する講話、薬物乱用防止教室、人権講話等)	53%	43%	96%
23	健康安全	先生方は、生徒の心や身体健康管理に取り組んでいる。	42%	57%	98%

② 生徒評価で改善が必要な評価が高かった項目(25～50%)

質問No.	項目	項目	あまりそう 思わない	そう思わ ない	改善が必要 な評価
4	学校生活	学校は楽しく、南風原高等支援学校に入学して良かったと思っている。	20%	6%	27%
9	授 業	各教科の成績や評価のつけ方について知っている。	20%	6%	27%

(参考) 生徒評価で昨年度の学校評価より10%以上改善が図られた項目

質問の No3、No5、No6、No13、No14、No16、No17、No19、No20、No21、No23、No26、No27 以上 13 項目で令和 5 年度よりも10%以上の改善がみられた。

(4) 保護者評価の考察

- ・保護者による評価の 29 項目中、28 項目において、80%以上の良好な評価が得られた。良好な評価が 100%の項目として「No1 本校の教育は、生徒に会っている。」「No4 生徒を南風原高等支援学校に入学させて良かったと思う。」「No15 南風原高校と南風原高支が合同で行事を行うことは良いことだと思う」「No19 先生方は進路指導に親切に応じてくれる。」「No20 本校は、生徒の適性や希望に応じた進路指導に取り組んでいる。」「No25 清掃が行き届いており、きれいな学校である」「No26 花と緑が多い学校である。」が挙げられ、本校の特色である産業科としての職業教育や併設校としてのインクルーシブ教育等について理解が得られていると思われる。
- ・昨年度より改善が図られた項目として、いずれも授業の項目である「No7 授業はわかりやすく楽しいと聞いている。」「No8 先生方は、教え方をいろいろ工夫している。」で、令和 5 年度よりも 10%以上の改善が見られた。先生方が、ICT 機器等を活用して個々の生徒に対応した授業改善の取り組みの成果であると考えられる。
- ・課題としては、「No29 本校の PTA 活動は活発である。」で改善が必要な評価が 26%と一番高く、昨年度より 7%低下していた。高等支援の保護者や職員からも、積極的に PTA 活動に参加していただき充実を図っていききたい。
- ・昨年より評価が低下していた項目として、「No12 学校は、生徒会活動が活発である。」が 12%低下していた。南風原高校と南風原高等支援学校は、生徒会活動を一緒に行っており、今後も連携した活動をふやすなど、学校生活が楽しく活気が出るような取り組みを意識充実に努めたい。

① 保護者による評価で良好な評価が95%であった項目(11 項目)

質問No.	項目	項目	そう思う	ほそ思う	良好な評価
1	学校運営	本校の教育は生徒にあってい	54%	46%	100%
2	学校運営	学校は生徒一人ひとりを大切に、生徒の人権に配慮した指導が行われている。	54%	43%	97%
3	学校運営	学校は、生徒の進路に対応した教育活動が行われている。	60%	37%	97%
4	学校生活	生徒を南風原高等支援学校に入学させて良かったと思う。	74%	26%	100%
6	学校生活	学校はいじめや生徒の心の健康について適切に対応している。	43%	54%	97%
8	授業	先生方は、教え方をいろいろ工夫している。	43%	54%	97%
9	授業	各教科の成績や評価は、適切に行われている。	46%	51%	97%
14	学校行事	学校行事は充実している。	26%	71%	97%
15	学校行事	南風原高校と南風原高等支援学校と合同で行事を行うことは良いことだと思う。	51%	49%	100%
19	進路指導	先生方は進路相談に親切に応じてくれる	51%	49%	100%
20	進路指導	本校は、生徒の適性や希望を活かした進路指導に取り組んでいる。	51%	49%	100%
25	環境美化	清掃が行き届いており、きれいな学校である	54%	46%	100%
26	環境美化	花と緑が多い学校である。	54%	46%	100%

(参考①) 保護者による評価で、最も改善が図られた項目

質問No.	項目	項目	R5 改善が必要な評価	R6 改善が必要な評価	改善率
8	授業	先生方は、教え方をいろいろ工夫している。	14%	3%	11% ↑

(参考②) 保護者による評価で、改善が必要な評価が最も高かった項目

質問No.	項目	項目	あまりそう 思わない	そう思わ ない	改善が必要 な評価
29	その他	本校の PTA 活動は活発である。	20%	6%	26%

(参考③) 保護者による評価で、昨年度より評価が10%以上悪くなっていた項目

質問No.	項目	項目	R5 改善が必要な評価	R6 改善が必要な評価	低下率
12	特別活動	学校は、生徒会活動が活発である。	8%	20%	12% ↓

(5) 教職員評価の考察

- ・教職員による評価では、35 項目中 33 項目において、80%以上の良好な評価が得られた。そのうち 23 項目で95%以上の評価であり、概ね満足のいく教育活動を行っていると思われる。
- ・課題としては、「No12 本校は、生徒会活動が活発である。」で改善が必要な評価が 50%、「No13 部活動が盛んである」で 56%となっており、部活動等の課外活動や生徒会活動等、生徒の主体的な活動についても充実を図っていききたい。
- ・今年度より、教職員のみ働き方改革についての項目を追加（質問 31～35）。「No31 個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができてい」で改善が必要な評価が 44%となっており、今後も、ICT 機器等を活用した業務の効率化や業務、行事等の精選を図る必要がある。

① 教職員による評価で、良好な評価が95%であった項目(23 項目)

質問No.	項目	項目	そう思う	ほぼそう 思う	良好な 評価
1	学校運営	本校の教育は、生徒にあっている	50%	50%	100%
2	学校運営	本校は生徒一人一人を大切にする指導が行われている	44%	56%	100%
3	学校運営	本校は生徒の進路に対応した教育課程が編成されている	56%	44%	100%
4	学校生活	本校の生徒は、南風原高等支援学校に入学して良かったと思う。	39%	61%	100%
5	学校生活	学校生活に関する生徒からの相談に適切に対応している	72%	28%	100%
7	授業	生徒がわかりやすく楽しく授業に参加できるよう努めている	56%	44%	100%
9	授業	各教科の成績や評価は、適切に行っている	61%	39%	100%
10	授業	将来の進路に向けての学習に取り組めるように努めている (各種検定や資格取得などを含む)	72%	28%	100%
11	特別活動	ホームルーム活動を活発にし、学級がまとまるよう努めている。	61%	39%	100%
15	学校行事	南風原高校と南風原高等支援学校と合同で行事を行うことは良いことだと思う	50%	50%	100%
16	生徒指導	本校の生徒指導の方針をしっかりと生徒に適切に伝えている。	44%	56%	100%
17	生徒指導	本校の生徒指導は生徒の人権に配慮しており、その方法は適切である。	33%	67%	100%
18	生徒指導	生徒指導は、家庭と連携を取ってすすめている	67%	33%	100%
19	進路指導	生徒や保護者からの進路相談に親切に応じている	72%	28%	100%
20	進路指導	生徒の適性や希望に応じた進路指導に努めている	67%	33%	100%
21	進路指導	進路に関する情報を生徒や家庭に適切に提供している	61%	39%	100%
22	健康安全	本校は命の大切さや社会のルールについて適切に指導している	72%	28%	100%
23	健康安全	本校は、生徒の心身の健康管理に適切に取り組んでいる	67%	33%	100%
24	健康安全	学校は、災害や安全等に関する危機管理に努めている	61%	39%	100%
26	環境美化	本校は、花と緑が多い学校である	50%	50%	100%
28	連 携	教職員は、保護者と適切に連携を取り合っている	72%	28%	100%
30	研 修	職員の専門性の向上や生徒の人権意識の高揚を図るための職員研修体制は充実している。	50%	50%	100%
33	働き方改革	一人一人の生徒との信頼関係を深めることができている。	28%	72%	100%

② 教職員による評価で、改善が必要な評価が50%以上あった項目(2 項目)

質問No.	項目	項目	あまりそう 思わない	そう思わ ない	改善が必要 な評価
12	特別活動	本校は、生徒会活動が活発である。	44%	6%	50%
13	特別活動	本校は部活動が活発である。	56%	0%	56%

③ 教職員による評価で、改善が必要な評価が高かった項目(25～50%) (2項目)

質問No.	項目	項目	あまりそう 思わない	そう思わ ない	改善が必要 な評価
32	働き方改革	個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができている。	44%	0%	44%

(6) 教職員と生徒(保護者)の評価の比較

- ・三者ともに評価が高い項目(良好な評価が90%以上)は、「No3 本校は、生徒の進路指導に対応した教育課程が編成されている。」「No5 学校生活に関する生徒からの相談に適切に対応している。」「No6 本校は、いじめや生徒の心の健康について適切に対応している。」「No8 授業では、生徒の実態に応じて教え方を工夫している。」「No18 生徒指導は家庭と連携を取って

すすめている。」「No19 生徒や保護者からの進路相談に親切に応じている。」「No20 生徒の適性や希望に応じた進路指導に努めている。」「No21 進路に関する情報を生徒や家庭に適切に提供している。」「No22 本校は、命の大切さや社会のルールについて適切に指導している。」「No26 本校は、花と緑の多い学校である。」の 10 項目であり、本校の産業科としての職業教育や個に応じた指導が、生徒や保護者との理解を得ながら勧められていると思われる。

- ・三者で評価が比較的悪い項目は「No12 本校は、生徒会活動は活発である。」「No13 本校は、部活動は活発である。」「No29 本校の PTA 活動は活発である。」であった。特別支援学校では、高校の生徒と一緒に生徒会活動や部活動ができることは、大変貴重な経験であるため、高等支援学校の生徒にも、積極的に生徒会活動や部活動を促していくと共に、生徒が主体となる活動の充実に向けて充実を図っていききたい。また、PTA 活動については、保護者の改善が必要との評価が 26%となっており、昨年よりも 7%程増えている。今後も様々な PTA 活動を実施する中で、引き続き保護者との連携を図りながら充実をめたい。
- ・教職員による評価と、生徒（保護者）の評価を比較すると、教職員の評価よりも 10%以上高い項目が 2 項目、他の 26 項目は教職員の評価よりも生徒の評価は低い評価であった。多岐にわたる項目で、教職員との評価に開きがあることから、生徒や保護者のニーズを把握しつつ、教育活動の充実をめめる必要がある。

① 三者ともに高評価の項目（良好な評価が 85%以上）（5 項目）

質問No.	項目	項目	評価者	良好な評価
3	学校経営	本校は、生徒の進路指導に対応した教育課程が編成されている。	生徒	98%
			保護者	97%
			教職員	100%
5	学校生活	学校生活に関する生徒からの相談に適切に対応している。	生徒	92%
			保護者	94%
			教職員	100%
6	学校生活	本校は、いじめや生徒の心の健康について適切に対応している。	生徒	91%
			保護者	97%
			教職員	94%
8	授業	授業では、生徒の実態に応じて教え方を工夫している。	生徒	96%
			保護者	97%
			教職員	94%
18	生徒指導	生徒指導は家庭と連携を取ってすすめている。	生徒	91%
			保護者	91%
			教職員	100%
19	進路指導	生徒や保護者からの進路相談に親切に応じている。	生徒	96%
			保護者	100%
			教職員	100%

20	進路指導	生徒の適性や希望に応じた進路指導に努めている。	生徒	96%
			保護者	100%
			教職員	100%
21	進路指導	進路に関する情報を生徒や家庭に適切に提供している。	生徒	96%
			保護者	91%
			教職員	100%
22	健康安全	本校は、命の大切さや社会のルールについて適切に指導している。	生徒	96%
			保護者	91%
			教職員	100%
26	環境美化	本校は、花と緑の多い学校である。	生徒	94%
			保護者	100%
			教職員	100%

② 三者ともに評価が悪い項目（改善が必要な評価が 20%以上）

質問No.	項目	項目	評価者	改善が必要な評価
12	特別活動	本校は、生徒会活動は活発である。	生徒	17%
			保護者	20%
			教職員	50%
13	特別活動	本校は、部活動が盛んである。	生徒	4%
			保護者	20%
			教職員	56%
29	連携	本校の PTA 活動は活発である。	生徒	
			保護者	26%
			教職員	6%

③ 教職員評価よりも生徒（保護者）評価が 10%以上良い項目

質問No.	項目	項目	評価者	改善が必要な評価	評価の差
12	特別活動	本校は、生徒会活動は活発である	生徒	17%	30% ↑
			保護者	20%	
			教職員	50%	
13	特別活動	本校は、部活動が盛んである	生徒	4%	52% ↑
			保護者	20%	
			教職員	56%	
27	連携	学校からの情報や連絡は、家庭によく伝わっている。	生徒	6%	12% ↑
			保護者	9%	
			教職員	18%	

8 令和6年度の学校評価のまとめと今後の改善点

(1) 令和5年度の学校評価を踏まえ、令和6年度改善した点

- ① 個々の生徒の実態や特性に応じた生徒指導、進路指導の充実を図り、問題行動等への対応を管理者、教職員、保護者、各関係機関等との連携した取り組みの充実を図った。
- ② 学校生活の中で人権意識を大切にしながら、生徒・保護者からの相談や心の健康について外部機関と連携を図った。
- ③ 地域社会で活躍できる人材の育成を目指し、地域の方々と連携した教育活動の充実を図った。
- ④ 就職率100%を目指し、産業科としての教育課程の充実と、就労支援コーディネーターや企業と連携した取り組みを行い、卒業後の職業自立へ向け意識の向上を図った。

(2) 令和6年度の学校評価で明らかになった課題

- ① 人権を大切にした教育相談、生徒指導の体制の更なる強化。
- ② 将来の目標へ向けた見通しと、自己肯定感、成就感が味わえる教育活動の充実。
- ③ 生涯学習を見据えた課外活動の充実及び部活動や生徒会活動の活性化。
- ④ 併設校と連携した特別支援教育の充実やインクルーシブ教育システムの整備。
- ⑤ 保護者や各関係機関との連携の強化。

(3) 令和6年度の学校評価を活かした令和7年度の改善点

- ① 職員研修を通して、生徒理解や生徒及び保護者支援の専門性向上に努めるとともに、教育相談や進路指導体制の改善・充実に努める。
- ② 各生徒の実態に合わせた授業内容の改善と、各教科での評価のつけ方の周知を図る。
- ③ 生涯学習を見据え、個々の生徒の状況に応じた課外活動（各種検定、アビリンピックへのチャレンジ等）および部活動や生徒会活動の活性化に努める。
- ④ 働き方改革について、業務の効率化や行事の精選を図り、ゆとりある時間を確保することで、生徒や保護者とのコミュニケーションの向上と教育活動の充実に努める。
- ⑤ 保護者や地域社会と連携した開かれた学校づくりに努めるとともに、各関係機関と連携しながら教育活動の充実に努める。